



## 平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フルヤ金属

コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古屋 堯民

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 榑田 裕之

TEL 03-5977-3377

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年6月期第1四半期の業績(平成27年7月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	3,851	△38.6	△151	—	△171	—	△141	—
27年6月期第1四半期	6,271	△22.4	589	31.6	638	42.6	404	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第1四半期	△19.77	—
27年6月期第1四半期	56.55	56.34

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第1四半期	23,124	14,474	62.4
27年6月期	21,777	14,970	68.5

(参考)自己資本 28年6月期第1四半期 14,429百万円 27年6月期 14,925百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	50.00	50.00
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年6月期の業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,300	△27.5	310	△69.2	280	△74.1	190	△71.8	26.51
通期	17,400	△19.3	1,500	△22.1	1,450	△27.7	940	△17.1	131.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期1Q	7,265,212 株	27年6月期	7,265,212 株
28年6月期1Q	96,734 株	27年6月期	100,334 株
28年6月期1Q	7,265,212 株	27年6月期1Q	7,265,212 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、米国経済の順調な回復とギリシャ債務問題が一段落した欧州経済の緩やかな回復もあって、全体として緩やかな回復基調が続いたものの、中国経済の減速・株式市場の混乱に端を発して、国内株式相場や為替相場が乱高下し、資源価格が値下がりしていたところに欧州大手自動車メーカーの不正問題が発覚し、一部の貴金属価格が大きく値下がりしました。

このような経済環境の中、各種電子部品や電子デバイス、半導体の需要は、スマートフォン関連では堅調だったものの、人工サファイア単結晶育成装置向けイリジウムルツボや、HD向けルテニウムターゲット、有機EL向け化合物などが、顧客の生産調整の影響で受注が減少しました。また、貴金属価格の下落に伴い、販売価格も下落し、売上・利益両面で影響を受けたことに加え、たな卸資産の評価減を実施し、製造原価に435百万円を計上いたしました。その結果、当第1四半期累計期間において、売上高3,851百万円(前年同四半期比38.6%減)、売上総利益315百万円(前年同四半期比71.7%減)、営業損失151百万円(前年同四半期は589百万円の営業利益)、経常損失171百万円(前年同四半期は638百万円の経常利益)、四半期純損失141百万円(前年同四半期は404百万円の四半期純利益)となりました。なお、製造原価に計上した、たな卸資産の評価減を実施する前の水準では、営業利益284百万円、経常利益264百万円となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### ①セグメント別の業績

##### [電子]

スマートフォンなどのSAWフィルター(必要な周波数信号を取り出すデバイス)に使用されるリチウムタンタレート単結晶育成装置向けのイリジウムルツボの受注は堅調に推移しましたが、LED基板に使用される人工サファイア単結晶育成装置向けイリジウムルツボや、ガラス溶解装置向け強化白金ルツボの受注が減少し、貴金属価格の下落で販売単価が下落したことにより、売上高1,730百万円(前年同四半期比49.5%減)、売上総利益406百万円(前年同四半期比50.7%減)となりました。

##### [薄膜]

スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注が一段落したほか、HD向けルテニウムターゲットの受注が顧客の生産調整の影響で減少し、貴金属価格の下落に伴い販売単価も下落したことから、売上高1,090百万円(前年同四半期比19.7%減)、売上総利益126百万円(前年同四半期比27.3%減)となりました。

##### [センサー]

半導体製造装置メーカーからの受注は減少傾向ながら、海外半導体メーカーからの受注が好調に推移し、売上高448百万円(前年同四半期比18.2%増)、売上総利益128百万円(前年同四半期比6.8%増)となりました。

##### [その他]

使用済み電極の回収精製や有機EL向け貴金属化合物の受注が伸び悩みましたが、触媒製造の受注が堅調に推移し、売上高582百万円(前年同四半期比47.5%減)、売上総利益90百万円(前年同四半期比79.7%増)となりました。

#### ②海外売上

当第1四半期累計期間における輸出売上高は887百万円(総売上高に占める割合は23.1%)となりました。

地域別にはアジア向け輸出売上高713百万円(海外売上高に占める割合は80.4%)、北米向け輸出売上高125百万円(海外売上高に占める割合は14.1%)、欧州向け輸出売上高48百万円(海外売上高に占める割合は5.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は23,124百万円(前事業年度末比1,347百万円の増加)、負債は8,650百万円(前事業年度末比1,843百万円の増加)、純資産は14,474百万円(前事業年度末比495百万円の減少)となりました。

①流動資産

当第1四半期会計期間末における流動資産残高は13,825百万円となり、前事業年度末比1,205百万円増加いたしました。これは現金及び預金が385百万円、未収消費税等が263百万円減少しましたが、たな卸資産が2,212百万円増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第1四半期会計期間末における固定資産残高は9,299百万円となり、前事業年度末比141百万円増加いたしました。これは有形固定資産が88百万円減少しましたが、繰延税金資産が226百万円増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当第1四半期会計期間末における流動負債残高は6,412百万円となり、前事業年度末比2,071百万円増加いたしました。これは買掛金が886百万円減少しましたが、短期借入金が3,200百万円増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第1四半期会計期間末における固定負債残高は2,238百万円となり、前事業年度末比228百万円減少いたしました。これは長期借入金が245百万円減少したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第1四半期会計期間末における純資産残高は14,474百万円となり、前事業年度末比495百万円減少いたしました。これは繰越利益剰余金が506百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年10月28日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表しております計画から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,158	773
受取手形	107	90
売掛金	2,821	2,682
商品及び製品	608	677
仕掛品	1,458	1,398
原材料及び貯蔵品	5,267	7,470
前払費用	46	45
繰延税金資産	523	331
関係会社短期貸付金	121	111
未収消費税等	499	236
その他	6	7
流動資産合計	12,620	13,825
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,540	2,488
構築物(純額)	54	52
機械及び装置(純額)	3,535	3,476
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	36	35
土地	1,612	1,612
リース資産(純額)	52	59
建設仮勘定	9	26
有形固定資産合計	7,840	7,752
無形固定資産	96	95
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
関係会社株式	117	117
保険積立金	25	26
長期前払費用	3	7
繰延税金資産	1,011	1,238
その他	55	55
投資その他の資産合計	1,219	1,451
固定資産合計	9,157	9,299
資産合計	21,777	23,124

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,215	1,329
短期借入金	-	3,200
1年内返済予定の長期借入金	1,284	1,207
リース債務	24	23
未払金	331	337
未払法人税等	97	10
賞与引当金	209	92
役員賞与引当金	29	-
設備関係未払金	9	23
前受金	31	29
その他	106	157
流動負債合計	4,340	6,412
固定負債		
長期借入金	1,645	1,400
リース債務	30	41
長期未払金	406	405
退職給付引当金	365	371
資産除去債務	15	15
その他	4	4
固定負債合計	2,466	2,238
負債合計	6,807	8,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本準備金	5,414	5,414
利益準備金	9	9
別途積立金	80	80
繰越利益剰余金	4,279	3,773
自己株式	△302	△291
株主資本合計	14,925	14,429
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
評価・換算差額等合計	△1	△1
新株予約権	45	45
純資産合計	14,970	14,474
負債純資産合計	21,777	23,124

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	6,271	3,851
売上原価	5,157	3,535
売上総利益	1,114	315
販売費及び一般管理費	524	466
営業利益又は営業損失(△)	589	△151
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	68	—
雑収入	17	7
営業外収益合計	86	7
営業外費用		
支払利息	15	10
デリバティブ評価損	22	0
雑損失	0	0
為替差損	—	16
営業外費用合計	37	28
経常利益又は経常損失(△)	638	△171
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	638	△171
法人税、住民税及び事業税	4	4
法人税等調整額	228	△34
法人税等合計	233	△30
四半期純利益又は四半期純損失(△)	404	△141

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	3,425	1,357	379	1,109	6,271
セグメント利益	824	173	119	50	1,168

(注) セグメント利益の合計額は、たな卸資産評価減前の売上総利益であり、当第1四半期累計期間損益計算書の売上総利益と一致していません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,168
たな卸資産評価減	△54
財務諸表の売上総利益	1,114

## II 当第1四半期累計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	1,730	1,090	448	582	3,851
セグメント利益	406	126	128	90	750

(注) セグメント利益の合計額は、たな卸資産評価減前の売上総利益であり、当第1四半期累計期間損益計算書の売上総利益と一致していません。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	750
たな卸資産評価減	△435
財務諸表の売上総利益	315